

### 自己評価及び外部評価票

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2071200311		
法人名	北アルプスの風		
事業所名	北アルプスの家		
所在地	長野県大町市大町2769-1		
自己評価作成日	令和5年2月16日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、長野県介護サービス情報公表システムで閲覧してください(このURLをクリック)

基本情報リンク先 [ps://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou\\_pref\\_search\\_list\\_list=t](https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action=kouhyou_pref_search_list_list=t)

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	一般社団法人しなの福祉教育総研		
所在地	長野県上田市上田180-6		
訪問調査日	令和5年7月5日		

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

純和風の建物の設え(囲炉裏、日本庭園調の中庭)により、居心地の良い空間の演出のほか、地域住民など多くの人と自然に触れ合える住宅地の環境。また、向かいにはデイサービスがあり、同世代の高齢者同士が交流できたり、誕生日会などの行事を行ったりと、人の行き来が自然と育てられている。利用者のサービスについては、細かな日課を決めるというよりは、ご本人のペースに合わせた日々の過ごし方を尊重している。また、ご本人の希望を知り、叶えられるよう対応している。そして、一人ひとりの『笑顔づくり』を大切にコミュニケーション等の関わりを大切にしている。

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所の目的は、利用者9名一人ひとりを「主役」とし、その主役である利用者の魅力を最大限に引き出せるよう、毎日職員の情報交換から、協力し「生きがいや、喜び」を持った生活が営まれるよう運営されています。日々の関わりの中で、ご自身の「意思」を読み取り、可能な限り自立した生活を送っていただけるよう「自立支援」のサービスを基本に、「出来る事」「出来ない事」を見極められる知識と援助技術を職員が身につけ、援助する側の理由で急がせたりすることなく、自発性を引き出すよう、ご本人のペースに合わせた関わりを大切に取組まれています。コロナ禍で自粛生活を送ってきましたが、今後はお花見や紅葉狩り、近隣で開催されるお祭り事に参加する外出計画を立て、ご家族との面会再開に向けても、社会や地域情勢を見極めながら実現して、利用者の笑顔に繋げる取組みに日々邁進しています。

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します。ユニットが複数ある場合は、ユニットごとに作成してください。

ユニット名( )			
項目	取組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向をつかんでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、生き活きと働けている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

ユニット名( )			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：2, 20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	66	職員は、活き活きと働いている。 (11, 12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		